

商店街活性化事業計画の概要

地 域	熊本県八代市	認定日	平成24年4月13日
-----	--------	-----	------------

事業名：『健康』と『感動』のまちづくり推進事業

事業者名： 本町一丁目商店街振興組合、本町二丁目商店街振興組合、本町三丁目商店街振興組合、通町商店街振興組合

事業実施期間 平成24年4月～平成29年3月

■商店街活性化事業の概要

医療と福祉が充実している環境を活かして、日常的に健康管理を行いながら、健康相談会や健康に関するセミナーを開催し、“健康づくり”の取り組み状況に応じて商品券がもらえるなど、商店街が“健康づくり”の拠点としてのサービスを提供する。また、コンシェルジュや子供の遊び場、物産館等を備えた多機能休憩所の設置を行う。さらに、大型店にはない“おもてなし”を提供するため、商店主同士の意見交換会や地域住民を交えた“おもてなし”店舗の評価、PRを行うことにより、魅力ある店舗づくりを行う。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

- ・アンケート調査によると、「魅力・こだわりのある店舗」「感動するような“おもてなし”」「PR不足」といった個店に対する要望や「子どもが楽しめる拠点」「集いの場」など商店街の機能向上に関する要望など買物の楽しみ、商店街に対する親近感が求められている。
- ・調査によると、医療機関が充実していると感じる人が多く“健康づくり”をテーマにした取組について関心が高い。

◆実施計画の主な内容

- ・各商店街に、商店街のコンシェルジュ(案内人)の配置、人が集まる“多目的スペース”、子ども達の“遊び場”など実施するコミュニティスペースを整備し、商店街の機能を高める。さらには、“魅力ある店舗づくり”のため、専門家を招いた研修会や覆面調査官が商店街の各店舗で買い物等を行い、“おもてなし”の評価を行う“感動”店舗ごろよか事業等を実施する。また、PR不足を解消するため、アーケード放送局、facebook等を活用した情報発信を実施する。
- ・健康づくりの拠点となるサービスを提供することにより“健康”に対して関心が高い地域住民を商店街に引き込みリピーターに繋げていく。各商店街のコミュニティスペースに、歩数計、体重体組成計、血圧計のデータを管理できるシステムを設置し会員を募集し、ウォーキングや健康相談、健康増進に応じたプレゼント等を行う。また、買物弱者支援として循環バスを利用して商店街でのお買い物に応じてバス無料券を配布し、商店街の活性化を図るとともに高齢者の心と体を健康にする。

■商店街活性化事業計画の目標

- ①商店街の通行量をH23年度を基準にH28年度までに5%アップさせる。
(平成23年度 14,787人→平成28年度 15,500人)
- ②健康づくり拠点推進事業への登録者を300名にする。
- ③商店街の売上：H23年度を基準にH28年度までに3%アップさせる。

【アーケードの様子】



【コミュニティスペースの設置】



【おもてなしの感動店舗創出】

